

令和5年度 学校評価表

学校教育目標		関わりの力をもち、自分を表現することができる児童の育成 ～人は人の中で人になる～			
a ミッション	主体性と規範意識を身に付け、心を育てる小中連携教育の推進	a ビジョン	自ら学ぶ意欲を培い、基礎・基本の学力を確実に習得させる学校 自己コントロールができ、協働的な学びの場の中で自己肯定感を育む学校 自らの健康に関する課題を明らかにし、自律的に解決できる児童を育む学校 地域・保護者と共に教育活動を創造する学校		

尾道市立栗原北小学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画				
領域	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値	達成度	評価		イ	ロ	ハ		
児童の育成に関わること	学知力を育み、理解力、表現力を高める。基礎・基本の学力を確実に習得させ、論理的思考力、表現力を培う。	「自ら学ぶ意欲」を培う教育環境を構築する。 基礎・基本の学力を確実に習得させ、論理的思考力、表現力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「栗原北小」学びのスタンダードの定着を図る。</li> <li>フレームリーディングによる「読む活動」の充実を図る。</li> <li>読解力を支えるペースとして読書活動、NIE活動を活性化させる。</li> <li>算数科において、2年・4年・5年・6年は習熟度別学習を展開し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>自由進度学習を試行的に実施する。</li> <li>総合的な学習の時間の新プログラムを試行実践する。</li> </ul>	<p>「自律的学習動機尺度」の経年比較により、内発的動機づけが有意に向上する。</p> <p>標準学力調査（国語科・算数科）において、前年度比より向上する学級数（通常学級）</p> <p>国語科、算数科の学期末テストにおける学級平均が期待値との比較において3ポイント向上する学級数（通常学級）</p>	肯定 65% (前年度比向上)										
	豊かな心や健やかな体を育成する	自律的な行動、他者意識をもった言動ができる児童を育てる。 協働的な学校生活の場を意図的に設定し、自己肯定感、役立ち感、憧れ感、リーダーシップ、フォローシップを醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週「コミュニケーションタイム」を設け、他者理解の育成を図る。</li> <li>クラス会議を定期的に開催し、自治的風土を構築する。</li> <li>ファミリー活動（掃除、遊び、行事）による異学年交流を促進する。</li> <li>集会やファミリータイムなど、子どもたちの主体的な表現の場、チャレンジの場を設ける。</li> <li>不安傾向を軽減させるプログラムを継続実施する（第5学年対象）。</li> <li>思いやりの木、思いやり貯金の取組を推進する。</li> </ul>	<p>学校生活に関するアンケートにおいて、①ファミリーやクラスに関する項目②「学校が楽しい」の項目の肯定的評価の割合</p> <p>アセスの生活満足感5.0以上の学級数</p>	肯定的評価 ①80% ②80%										
	自らの健康に関する課題を克服するための実践を自律的にできる力を培う。	自らの健康に関する課題を克服するための実践を自律的にできる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に2回以上、食育に関する動画や写真を使った指導等を栄養教諭と担任で協力して行う。</li> <li>委員会活動を中心に、配膳時間の短縮の取組を行い、食事時間を確保する。また、食に関する啓発活動を行う。</li> </ul>	<p>給食に関するアンケートにおいて、①「好き嫌いせず食べようとしている」、②「食べ物を大切に、残さず食べるようにしている」の割合</p> <p>主菜・副菜の残食率の割合</p>	肯定的評価①72% (前年度65%) ②87% (前年度86、9%)										
関わる・保護者に	地域社会の中に位置付く学校をめざし、教育活動へ積極的な協力者を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、地域に教育活動の具体的な展開について広報し、理解と協力を得る。</li> </ul>	<p>地域のゲストティーチャーから学ぶ授業を展開する。</p> <p>保護者に対するHPの更新頻度、更新内容に係る評価アンケート。</p>	ゲストティーチャーとの授業6/6学年	肯定的評価85%以上										

※ \_\_\_部は前年度からの追加・修正点

【自己評価 評価】  
A: 100 ≤ (目標達成)  
C: 60 ≤ (もう少し) < 80  
B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100  
D: (<できていない) < 60

【外部評価】  
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。  
ハ: わからない。